

# 令和7年度 指定管理施設評価票

## 1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	港区立児童発達支援センター						
指定管理者	社会福祉法人 友愛十字会						
指定期間	令和 2 年 4 月 1 日 ~ 令和 12 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	—	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	—
施設所管課	保健福祉支援部障害者福祉課						

## 2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	66	66		10		10		76
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		備考
正規・非正規職員の退職者数		12	12	13	11	15		

## 3 指定期間における事業実績

事業実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
児童発達支援事業年間延利用者数	14,597	16,445	16,124	16,846	15,870	
放課後等デイサービス年間延利用者数	912	875	689	514	429	
居宅訪問型児童発達支援年間延利用者数	188	128	32	38	28	
保育所等訪問支援年間延利用者数	115	171	137	99	81	
障害児・計画相談支援年間延利用者数	1,658	1,428	1,306	1,608	1,957	
総合相談年間延利用者数	3,385	3,421	3,671	3,390	3,011	

## 4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
経費実績	収入	607,203,079	661,405,076	674,992,553	728,926,872	763,431,459	
	指定管理料（清算後）	413,862,181	439,480,313	459,618,849	469,585,317	505,365,044	
	利用料金収入	188,202,898	211,685,166	205,273,003	238,701,210	233,108,816	
	その他収入	5,138,000	10,239,597	10,100,701	20,640,345	24,957,599	居住支援特別手当、職場環境改善等事業補助金等
	支出	590,875,550	597,713,518	639,579,175	691,288,435	718,098,033	
	職員人件費	362,038,718	364,505,555	404,215,852	453,234,162	473,510,214	
	光熱水費	4,766,362	6,343,771	5,638,163	5,861,628	6,058,205	
	修繕費	1,792,890	3,057,450	1,486,848	962,709	1,000,000	
	事業運営費	211,804,477	213,235,648	217,655,038	218,506,905	224,967,160	
	施設管理経費	6,473,103	6,571,094	6,583,274	8,723,031	8,562,454	
その他経費	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000		
差引収支額	16,327,529	63,691,558	35,413,378	37,638,437	45,333,426		
年度協定書で定める指定管理料	435,352,549	439,495,360	468,702,172	470,152,153	505,508,818		

## 5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5 15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	3 / 5	3 / 5	×2 6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2 10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3 15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3 15 / 15
区による評価合計点				86 / 100	

### 【各項目の評価について】

- 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。  
 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。  
 1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。  
 ※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	区内唯一の児童発達支援センターとして中核機能の役割が年々重要となっている状況を踏まえ、家族支援や地域の保育園・幼稚園、民間事業所、地域、区などとの連携強化への取り組みを行った。長年、区内で児童発達分野に携わってきた経験やノウハウを活用し、次年度から開始となる区の5歳児健診導入に向けた検討委員会にも施設長が委員として参加するなど、区の重要な取り組みにも協力要請があり、児童発達支援センターの責務を果たす具体的な事例のひとつとなった。
区（施設所管課）による評価	児童発達支援センターにおける地域での中核機能の役割がより求められる中、民間事業所や地域の保育園、幼稚園等の関係機関向けの見学・研修等を通じて、地域貢献、事業所連携に向けた取組を継続的に進めています。 一方で年度当初は適切な人員配置で事業実施をしていましたが、年度途中での退職があり、年度内での欠員対応ができなかったことが課題となっています。人材育成と職員定着に向けて、区として指定管理者を支援していきます。 令和8年度は、区の5歳児健診における療育の相談先として、指定管理者と連携・協力して取り組みます。

## 6 評価

### 令和7年度の管理運営に関する総合評価

A

### 【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）  
 A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）  
 B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）  
 C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）